

第3回 工賃向上のための「5S」とは？

例えば、業務を改善することで作業効率をアップし、作業効率をアップすることで同じ時間内に作れるモノの数を増やし、結果として1時間当たりの工賃を上げてゆくことができます。

業務改善のカギとして、昔から標語のように言われてきたことが、「5S」です（「4S」などのバリエーションもあります。）。

5Sとは、「整理」「整頓」「清掃」「清潔」「しつけ」の頭文字が“S”の5つです。「しつけ」はあまりいい言葉ではないかもしれませんが、“S”に揃えるための工夫だと思ってください。

この5Sを励行することで、生産性を向上し、ひいては工賃を上げてゆくことができます。決して精神論ではなく、具体的・実地的なノウハウです。

「整理」とは、「要るものと要らないものを分類し、要らないものを処分する」ことです。なお、ここで「処分」というのは、捨てたり、倉庫に移したりすることです。

「整頓」は、「要るものを分類して表示して、所定の場所にきちんと置く」ことです。

よく「整理・整頓」と言いますが、着手する順序として、「整理」から行います。要らないものを整頓しても意味がないからです。

「整理」と「整頓」を行うだけで、いいことが色々あります。

例えば、材料や道具を探す、あるいは引っぱりだす時間を相当省けることです。また、限られた作業スペースに余裕ができ、そのために能率よく仕事をすることも可能になります。

余計なモノが積み上がっているために起きる事故なども減少できます（特に、下肢障がいや視覚障がいの利用者さんがおられる事業所で）。

「清掃」「清潔」「しつけ」につきましては、次回以降ご説明いたします。

なお、「5S」については、『「工賃向上計画」策定・実現ノウハウ集 第二部 実現へのノウハウ（平成27年度改訂版）』32ページ以下で詳しくご説明しております。

<http://www.shougai-syuurou.jp/upload/2015050814310759812.pdf>